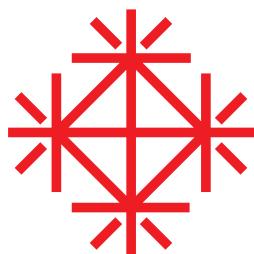




原料玄米の受入検査と張込

お米と。あなたと。



KITOKU SHINRYO
木徳神糧

第77期
株主通信

2024年1月1日～2024年12月31日

CONTENTS

木徳神糧ってどんな会社	01
連結財務ハイライト	02
トップインタビュー	03
特集	06
役員紹介	07
会社概要・株式情報	08
株主様インフォメーション	09
拠点だより	10
イベントのご報告・イベントの紹介レシピ	裏表紙

木徳神糧ってどんな会社？

経営理念

コメビジネスを軸に世界中の消費者にコメとコメ関連食品の素晴らしさを発信し、健康で楽しいライフスタイルの実現をサポートします。

中期3ヵ年経営計画（2023年12月期～2025年12月期）

事業規模・事業領域の拡大に向けた体制再構築の期間とし、
収益体制を作りながら成長を図る

コメビジネスの拡大

- 多収・高温耐性品種と生産効率化で産地と協力し仕入基盤強化
- UMBP商品のブランディングと拡販
- 海外法人を活用した海外マーケット開拓

コメ関連ビジネスの成長

- 飼料事業・鶏卵事業の持続的成長で米穀事業への依存度を下げる
- 新商品・新規事業の具体化に向けた着実な取り組み

企業成長の土台作り

- 人的資本経営の強化
(ベースアップ、等級要件やスキルマップ等の見直し)

当期の取り組み

海外法人従業員の来日研修

当社は、グローバルな成長を支える人的資本の強化を重視しています。その一環として、連結子会社であるベトナムのアンジメックス・キトク有限会社の社員を対象に、2回目の来日研修を実施しました。

岡山工場では、最新の無洗米設備の技術研修を行い、オペレーションや専門知識の向上を図りました。また、外部研修も実施し、無洗米加工で発生する「とぎ汁」の有効活用について学びました。さらに、納品先でのお米の調理方法や店舗視察を通じ、業界の最新動向に関する知見を深めました。

今後も、海外法人との連携を強化し、グローバルに活躍できる人材の育成を進めてまいります。



岡山工場研修



店舗視察



連結財務ハイライト

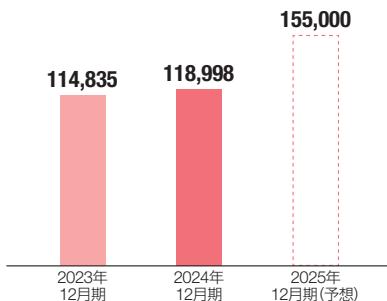
決算情報の詳細はコーポレートサイト「業績・財務」をご覧ください。



Financial Data

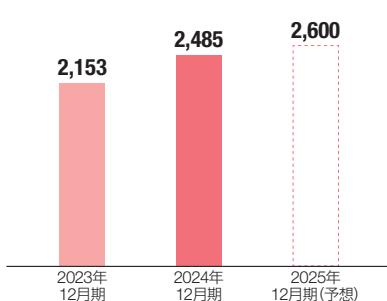
売上高

(単位:百万円)



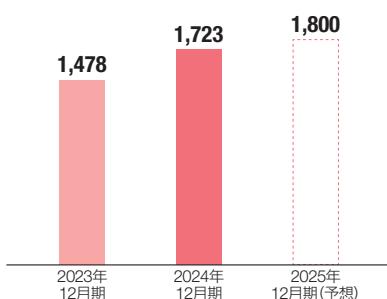
経常利益

(単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



米穀事業



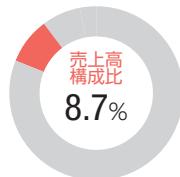
売上高 **96,566**百万円
(前年同期比 5.2%増)

営業利益 **2,643**百万円
(前年同期比 10.9%増)

- 令和5年産米の堅調な需要にインバウンド増加や災害備蓄の買い急ぎが重なったこと、令和6年産米も集荷競争で高騰する状況で精米販売が堅調に推移したことにより増収
- 新米調達の前倒し等の機動的な調達でお取引先への安定供給に注力し、価格転嫁が進んだことにより増益



飼料事業



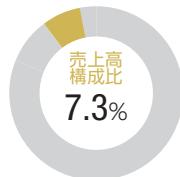
売上高 **10,331**百万円
(前年同期比 3.2%増)

営業利益 **496**百万円
(前年同期比 0.7%増)

- 輸入乾牧草の北海道および九州エリアでの販路拡大を戦略的に進めるとともに、槽糠類の拡販に注力したことにより増収増益



鶏卵事業



売上高 **8,736**百万円
(前年同期比 11.0%減)

営業利益 **274**百万円
(前年同期比150.5%増)

- 鶏卵の生産拡大を受けて需給が緩み、平均相場が軟調に推移したことにより減収
- 仕入先の複線化を進めるとともに米穀事業や飼料事業との連携を強化し、新規顧客開拓や既存顧客との取引拡大、業務効率化によるコスト削減が進んだことにより増益



食品事業



売上高 **3,364**百万円
(前年同期比 5.3%増)

営業利益 **107**百万円
(前年同期比 13.7%増)

- ヘルスケア商品の販売に苦戦したものの、米菓メーカー向けの加工用原料米とコンビニスイーツの原料としての穀粉の販売が好調に推移したことにより増益
- 米不足による原料価格の継続的な上昇のなか販売価格への転嫁が遅れたことにより減収





需給環境が大きく変化するなか、
役職員一丸となり米穀卸として
進化を続けてまいります。

代表取締役社長 鎌田 慶彦



Q

2024年12月期の概況と国内事業での
取り組みをお聞かせください。

A

米穀卸の存在意義として、コメの
安定調達・安定供給に取り組んでいます。

当期は猛暑等の影響で令和5年産米の収量が減少し、精米歩留りの悪化もあり供給量が減少しました。一方、インバウンドの増加や食品全般の値上げに対するコメの割安感、南海トラフ地震の臨時情報や米不足報道が重なったことが消費者の買い溜めを促し、「令和の米騒動」と言われる事態となりました。こうしたなか、当社は安定調達を最優先に、機動的な調達を推進し、原料価格の高騰に対応しながらお取引先への供給責任を果たし、適時適切な価格転嫁を進めた結果、上場来過去最高益を計上することができました。

需給環境が大きく変化するなか、米穀卸である当

社の存在意義は、持続的に生産と消費を結びつけ、安定調達・安定供給を実現することに他なりません。当社グループは中期3カ年経営計画（2023年12月期～2025年12月期）のもと、安定的かつ機動的な調達の両立に向けて全農との協力体制を強化し、事業連携や資本参加等による米穀事業グループの拡大を推進してまいりました。米穀の流通量が減少し価格や需給が乱れているこの状況において、課題は仕入基盤の安定化であり、調達先との協力体制の更なる強化・拡大が重要さを増しております。高温耐性を持つ多収穫品種「にじのきらめき」等の契約栽培を生産者に働きかけるなど、さらに調達ルートを複線化しつつ、輸送と保管の効率化等を図り、コストダウンと品質向上に努めます。生産農家の高齢化や離農の加速が懸念されるなか、生産者が持続的に再生産できる適切な価格である

ことが重要です。当社は、こうした状況を丁寧に説明し、お取引先の理解を得ながら価格を維持することを、重要な役割と認識しています。

Q 海外事業の状況を教えてください。

A 好調な主要連結子会社を中心に戦略的施策を着実に推進しています。

連結子会社であるベトナムのアンジメックス・キトク、中国の木徳（大連）貿易、タイのキトク・タイランドの3社は、いずれも計画を上回る好調な業績を維持しています。また、現地で栽培されるジャポニカ米の販路拡大に向けた仕組みづくりの一環として、2024年には海外拠点で初めてアンジメックス・キトクに、国内で導入している無洗米加工方式「UMBP（ウルトラマイクロバブルプロセス）」設備を導入しました。UMBPは超微小な泡で米ぬかを除去し無洗米化するため、炊飯に適さない硬水が多い海外でも、軟水のミネラルウォーターで簡単にご飯を美味しく炊けるメリットがあります。今後はベトナム以外の国への導入も視野に、UMBPの無洗米を活用した海外ではなじみが薄い無洗米の本格販売と市場の確立に努めてまいります。

日本国内では日本米不足となる一方で、シンガポールなどの東南アジアや欧州、北米でのジャポニカ米需要が増えています。こうした状況下で海外事業部が、各国でのアライアンスを活用してグループを牽引し、海外にお

けるジャポニカ米需要に応えるとともに、国内ではインバウンドや外国人居住者の増加、そしてエスニック料理の流行を踏まえ、タイ香り米やバスマティライス等、特徴のある外国産米の輸入を拡大し、日本の皆さまへ食のバリエーションや楽しみ方を提案しています。

Q コメ関連ビジネスへの取り組み状況を教えてください。

A 事業領域の拡大に向けた取り組みが着実に成果を挙げています。

2024年12月期には「事業領域の拡大」をテーマに掲げ、米穀事業、鶏卵事業、飼料事業の連携を強化し、調達・販売の拡大に取り組みました。その成果として、鶏卵事業では調達ルートの複線化を進め、既存顧客との取引が拡大し、利益率も向上しました。また、各事業部門が連携してコメからの副産物等を活用した新しい循環型ビジネスも模索しており、UMBP加工で発生する米のとぎ汁を利用した肥料づくりに岩手県で取り組み始めています。米価が高騰するなか、将来的に飼料用米の確保が厳しくなることも予想されるため、肥料を始め新たな分野へ商材を広げていくことも重要です。各事業部門が連携することでサステナブルな社会への貢献につながるビジネスの創造に期待しています。

また、当社はコメを原料とする商品開発を進めており、2023年12月には国産こめ油を原料とする「八十八花（はちじゅうはちか）石けん」、2024年4月には家庭用向



けの米粉ミックス粉商品やたんぱく質調整「白かりんとう」を発売しました。2024年12月にはABCクッキングスタジオ様開催のクリスマスイベントに参加し、米粉ミックス粉商品をレシピと合わせて紹介するなど、販売促進活動を通じて消費者への認知度向上を図っています。

新規事業開発・新商品開発の動きを加速化するために、2024年12月から「ひとつぶのヒラメキ」という、全社員からビジネスアイデアを募集する企画を始めました。多くの応募があり、私から一つひとつにコメントを返すなかで、社員とのコミュニケーションの活性化やエンゲージメント向上の効果も感じています。さらに、新たな社内プロジェクト「チームトライアル」も立ち上がり、若手を中心に選抜された社員9名が3チームに分かれて新規ビジネスを企画し、2025年秋を目途に経営陣の前で事業計画を発表する予定です。実現性の有無は重要ですが、若手社員が事業計画の立案や組織運営等を経験する機会を通して、次世代のリーダー育成につなげたいと考えています。

Q

ステークホルダーへのメッセージをお願いします。

A

社員とともに、企業価値向上に向けた挑戦を続けます。

全てのステークホルダーのご支援により、上場後過去最高益を達成することができました。心より感謝を申し上げます。

中期3カ年経営計画では、重要な方針の一つとして「企業成長の土台作り」を掲げています。企業の最も重要な基盤は「人材」です。社員が働きやすく、成長できる環境づくりを目指し、会社としてできることを一つずつ実践し、継続的にアップデートしてまいります。そのためには、教育制度の充実や社員一人ひとりが“自分が動くことで木徳神糧が変わる”と感じられる雰囲気づくりも重要です。今の木徳神糧はまさに転換期にあります。私は社内の年頭挨拶で今年のテーマは“わくわくドキドキ”だと伝えました。社員には楽しみながら新しい価値の創造に取り組んで欲しい、そして社員のチャレンジを経営陣がしっかりと評価していくことが重要だと考えています。当社は以前から社会貢献活動として学校給食や全国のこども食堂へのお米の寄付を実施していますが、2024年10月にはこども食堂支援寄付付き商品「岡山米にじの架け橋」を発売しました。これは支店にいる社員の発案ですが、今後さらに社員主導の動きが活発化することを期待しています。

当社は今後も、お取引先との信頼関係を更に強固にしながら、安定調達・供給の実現を通じて社会的役割を果たし、株主の皆さまに還元していくことを目指します。この循環を続けるために、木徳神糧の企業理念を全てのステークホルダーにしっかりと伝えていくことも社長の役割であると認識しています。皆さまには引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



お米を食べてこども食堂支援 『にじの架け橋』キャンペーン



こども食堂支援寄付付き商品『岡山米にじの架け橋』 最大目標寄付数量5トンを達成しました

2024年10月～12月、当社は中四国支店がある岡山県にて、販売数量に応じたお米をこども食堂に寄付する寄付付き商品『にじの架け橋』の発売キャンペーンを実施しました。このキャンペーンでは寄付付き商品販売1袋あたり500gのお米を、岡山県内のこども食堂を支援する「一般社団法人岡山こども食堂支援センター」を通じて岡山県内のこども食堂へ寄付させていただきました。JR岡山駅東西連絡通路には同キャンペーンのディスプレイ広告を掲出し、多くの方にご購入のご協力をいただくことができました。

今後も引き続き、お米の魅力を発信するだけでなく、広域米穀卸として果たすべき企業の社会的責任を自覚し、社会貢献に取り組んでまいります。



ディスプレイ広告でご協力をお願い

『岡山米にじの架け橋』について

こどもたちが健やかに成長できる環境づくりを願い、気候変動対策として期待される品種である「にじのきらめき」を100%使用。限定10,000袋を完売し、最大目標寄付数量5トン（500g×10,000袋相当）を達成しました。



専用パッケージで
こども食堂に寄付



子どもたちから
お礼のメッセージを
いただきました

こども食堂支援寄付の流れ

① キャンペーン商品をお客様が購入
10,000袋を完売しました

② 販売数量に応じてお米を寄付
最大目標寄付数量5トンを達成しました

③ お米がこどもに届く
岡山県内の28箇所のこども食堂に寄付されました



2025年3月27日付の新任役員3名をご紹介します。

取締役執行役員

米穀事業本部
副本部長

この
今野 みのる
稔



入社以来、米穀の販売や仕入等に従事してきました。当社は歴史ある企業で、2032年には創業150周年を迎えますが、更に発展し続ける組織作りにも努めてまいります。また、環境配慮も重要な課題です。無洗米加工で発生する副生水(高濃度のとぎ汁)の資源化に向け、岩手県内で肥料原料製造をスタートしました。今後は肥料原料の製造・販売と、高機能肥料の稲作への活用を進め、収穫されたお米を購入・販売する循環型モデルを構築していきます。プライベートでは、毎日1万歩以上のウォーキングと筋力トレーニングを日課としています。健康維持も心掛けて仕事に邁進してまいります。

取締役執行役員

飼料事業統括
飼料事業部長兼務

すずき ただし
鈴木 **平**



飼料事業部に配属になって最初の仕事は受け渡し業務でした。仕入先から商材を調達し、顧客に納品する単純な仲介作業と思われがちですが、取扱う食品製造副産物は様々な要因で供給量が変動するため、必要量を確保できないこともあれば処分に苦慮することもあり、計画通りにいかないのが常でした。調整に奔走する日々でしたが、問題の一つひとつ解決していくことで、提案力や調整力が磨かれ、様々なスキルが高められたと感じています。これからも需給や物流を長期的視野で捉え、持続可能な供給体制の実現に向けて果敢に挑戦し続け、当社の関連産業の発展に貢献してまいります。

社外取締役

かしわばら ゆきよ
柏原 **幸代**



この度、木徳神糧株式会社の社外取締役に就任いたしました。管理栄養士として約30年の経験を通じ、健康的な食生活においてお米が重要な役割を果たすことを実感してまいりました。皆さまの健やかな暮らしに貢献できるよう、食の専門家としての視点を活かし、さらなる企業価値向上に努めてまいります。

- 一般社団法人日本健康食育協会代表理事
- 一般社団法人食アスリート協会副代表理事
- 一般社団法人機能性健康米協会副理事長
- 公益財団法人日本ヘルスケア協会お米で健康推進部会長



会社概要・株式情報

(2024年12月31日現在)

Corporate Data

一 会社概要

商号 木徳神糧株式会社

事業内容 米穀、飼料、鶏卵、その他食品等の仕入、加工、販売並びに輸出入

本社所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-8
木徳神糧小川町ビル
TEL: 03-3233-5121(代表)
FAX: 03-3233-5131

資本金 5億2,950万円

従業員数 276名(臨時雇用者を除く)

ホームページ <https://www.kitoku-shinryo.co.jp>

一 株式情報

- ① 発行可能株式総数 6,000,000株
- ② 発行済株式の総数 1,706,000株
- ③ 株主数 2,588名
- ④ 大株主

株主名	所有株式数	持株比率
木村 良	100千株	6.12%
濱田精麦株式会社	82	5.04
株式会社神明ホールディングス	80	4.89
大和産業株式会社	70	4.28
全国農業協同組合連合会	60	3.67
株式会社三菱UFJ銀行	60	3.67
株式会社三井住友銀行	37	2.27
農林中央金庫	37	2.27
木徳神糧従業員持株会	37	2.27
ヤマエ工野株式会社	30	1.87

(注) 1. 所有株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式(72,706株)を控除して計算し、小数点第3位を切り捨てて表示しております。

一 役員等 (2025年3月27日現在)

代表取締役社長	鎌田 慶彦	(執行役員)	
取締役会長	竹内 伸夫	上席執行役員	内田 英一
取締役常務執行役員	稲垣 英樹	上席執行役員	金子 泰彦
取締役常務執行役員	菅 益成	執行役員	郡司 和久
取締役執行役員	山田 智基	執行役員	中田 基春
取締役執行役員	今野 稔	執行役員	鈴木 敬夫
取締役執行役員	鈴木 平	執行役員	小松 功明
取締役(社外)	柏原 幸代	執行役員	龍神 崇
監査役(常勤)	谷本 和則	執行役員	竹井 勝
監査役(社外)	鈴木 昌治		
監査役(社外)	尾崎 達夫		
名誉会長	平山 惇		
名誉顧問	木村 良		

一 連結子会社

アンジメックス・キトク有限公司
TayThanhWard, MyThoiVillage, LongXuyenCity, AnGiangProvinceVN
代表取締役会長 平山 惇

木徳(大連)貿易有限公司
中華人民共和国遼寧省大連市中山区武漢街73号城市広場B座1003室
董事長 平山 惇

キトク・タイランド会社
15th floor, Sathorn Thani Building 190/40-41 North Sathorn Road, Silom, Bang Rak, Bangkok 10500, THAILAND
代表取締役社長 平山 惇

株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月に開催いたします。

基準日 定時株主総会については12月31日、その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日

配当金受領株主確定日 12月31日および中間配当金の支払を行うときは6月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 株式会社東京証券取引所

公告方法 電子公告(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)



株主優待制度変更のご案内

この度、当社は株主の皆さまの満足度向上に加え、当社のこども食堂支援や環境保全を中心とした取り組みに共感していただける株主様の増加を目指し、優待制度の内容を見直すとともに長期保有に対する優待制度を新たに導入いたしました。

株主優待基準

2024年12月31日の基準日に株主名簿に記載または記録された株主様への優待より実施いたします。

6月末現在の株主様 (10月頃発送、切り餅は12月中旬発送)

200株以上400株未満	2,000円相当の米穀製品等 または社会貢献活動に対する寄付*1
400株以上	4,000円相当の米穀製品等 (うち2,000円相当は「切り餅」) または社会貢献活動に対する寄付*1

*1 社会貢献活動に対する寄付をお選びいただいた場合、優待相当額と同額を当社名義にて寄付いたします。

12月末現在の株主様 (3月頃発送)

100株以上かつ 保有期間3年未満	2,000円相当の米穀製品等
100株以上かつ 保有期間3年以上*2	4,000円相当の米穀製品等

*2 3年以上継続保有とは、6月末日と12月末日の株主名簿に100株以上の保有が同一株主番号で連続して7回以上記載または記録されていることとします。

株主優待内容

米穀製品等または社会貢献活動への寄付をお選びいただけます。

寄付をご希望の場合は、8月頃にお送りする申込ハガキに必要事項をご記入の上、ご返送ください。



※画像はイメージです。

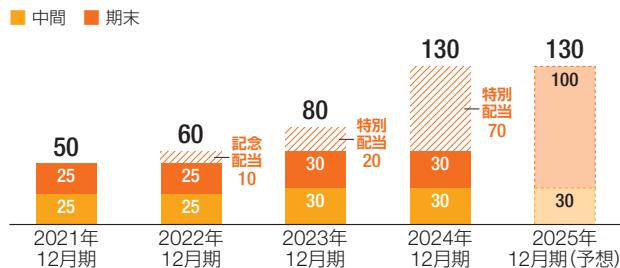
詳細については、株主優待に同封されるご案内をご確認ください。

配当金

当社は株主様に対する利益還元を重視しており、安定的な配当の継続を業績に応じて維持することを基本方針としております。その実現のためには盤石な経営基盤の確保が重要であり、株主様への利益還元と同時に内部留保の一層の充実を図りつつこれに取り組んでまいります。

1株当たり配当金の推移

単位：円



株主アンケートにご協力ください

株主の皆さまのお声から今後の活動に反映させていただくため、アンケートを実施しております。同封のアンケートハガキにご記入の上、最寄のポストへご投函ください。何卒ご協力をお願い申し上げます。



拠点だより 「近畿エリアの安全と信頼の要」 滋賀工場



滋賀工場は滋賀県東近江市にあり、雄大で変化に富んだ風光明媚な景色に囲まれています。豊かな自然の中にありながら、幹線道路も近く、多様なお客様のニーズに迅速に対応できる利便性が強みです。ISO9001および精米HACCPの認証を取得しており、品質管理・衛生管理・汚染防御管理を行う総合的な工程管理で精米の安全確保に取り組んでいます。本社や関西支店と連携しながら、主に近畿エリアのお客様向けに家庭用・業務用の精米商品を日々製造しています。

当工場は若手スタッフが多く、チャレンジ精神にあふれ、誰もが提案し実現しようとする活気に満ちた職場です。これからも、お客様に安全・安心をお届けできるよう、従業員一丸となり業務に励んでまいります。



生産部門
レオン アールド
(2013年入社)



後輩に恥じない見本となるため、現状に満足せず日々努力しています

精米オペレーターと生産計画を担当しています。消費者様の顔を思い浮かべながら、緊張感と責任感を持って作業し、部門全体で協力し安全と効率化に努めています。精米工程には品種や気温、湿度に応じた調整が必要で、日々学びがありやりがいを感じます。また、出荷数を予測した生産計画を立ててロスの最小化を図ることや、碎米や糠などの副産物の活用、賞味期限の長い長鮮度米の提供は、無駄を抑えることで環境保護にもつながると考えています。

最近、業務効率化の一環で他部署の業務を引き継ぎました。大変ですが、その分知識やスキルが身に付き力量が向上したことを実感しますし、新たに得た知識を既存業務に活かして改善ができた時には達成感を感じます。

私は「時間を貯める」ことを意識して、トラブル発生に対応できる時間を確保しています。いつも社内外関係なく、素直・実直を大切にしてお応えするよう心がけていますが、以前社内の方と電話した際に、「焦っていたけど佐川さんが対応してくれて落ち着いた」と褒めていただいたことがとても嬉しく、記憶に残っています。



現在、育児中のため時短勤務をしており、看護休暇もあり助かっています

事務部門
佐川 奈美加 (2009年入社)

主にお米の包装と出荷を担当しています。出荷に誤りがあると販売先や消費者の皆さまにご迷惑をおかけしてしまうので、確実に作業できるよう普段から謙虚であることを心がけています。最近、契約社員から正社員となってより責任のある業務に携わり、必要とされている実感が湧いています。今後は機械トラブルへの対応や後輩への指導力を身につけたいです。今まで先輩方に助けてもらった経験から、仲間が困った時は率先してフォローするよう努めています。

上司に相談しやすく、和気あいあいとしながらも、やる時はやるメリハリのある職場です



包装部門
西浦 優澄 (2018年入社)

イベントのご報告

2024年12月に開催された料理教室ABCクッキングスタジオ様のクリスマスイベントに、当社米粉シリーズ商品の販売促進を目的として参加しました。当社の米粉を使ったオリジナルレシピのレッスンをInstagram WEB配信と東京丸の内の会場で1日ずつ実施し、2日間で200名以上の生徒さんが参加。終了後のアンケートでは、イベントで紹介された商品のうち当社の米粉への関心が最も強く、米粉を日常使いするためのレシピを知りたいという声が多く寄せられました。

今後も、消費者が米粉を使いやすく感じていただけるためのレシピの開発や発信を継続してまいります。



Instagram
WEB配信の
アーカイブはこちら



イベントの紹介レシピ

クランベリーと ホワイトチョコのスコーン



材料(6個分)

バター(食塩不使用)50g

a 米粉(国産) 200g
ベーキングパウダー 小さじ2
砂糖 40g
塩 ひとつまみ

b 牛乳 50cc
卵(溶いたもの) 1個分

c クランベリー(ドライ) 60g
チョコチップ(ホワイト) 60g

この他にも
ホームページでレシピ
情報を公開中!



作り方

- ① ボウルにバターを入れ、ハンドミキサーでクリーム状になるまで混ぜる。
- ② aを加え、ハンドミキサーのスイッチを入れずに手で10回程度混ぜる→低速で3秒前後混ぜる、を数回繰り返し、細かいそばろ状にする。
- ③ bを3回位に分けて加え、その都度低速で混ぜる。
- ④ 大きなそばろ状になったら、cを加え、スクッパーで切り混ぜる。
- ⑤ ボウルの中で生地を半分に分けて重ね、上から少しおさえて平らにしてまとめる。同様に3~4回繰り返す。
- ⑥ 生地をラップの上に取り出し、さらにラップをもう一枚重ね、スクッパーで上から押さえて直径14cm位・厚さ3cmの円形に広げる。
- ⑦ ラップで包み、バットにのせ冷凍庫に入れ、休ませる(10分)。
- ⑧ スクッパーで放射状の6等分にカットし、形をととのえ、クッキングシートを敷いた天板にすき間をあけて並べる。
- ⑨ オーブンに入れて焼く(190℃25~30分)。

 木徳神糧株式会社

〒101-0052
東京都千代田区神田小川町2-8 木徳神糧小川町ビル
TEL: 03-3233-5121 (代表) FAX: 03-3233-5131

 UD
FONT

見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。

 VEGETABLE
OIL INK

環境に配慮した
植物油インキを
使用しています。

 ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を受けています
www.fsc.org FSC® C022915